

山形を明るく楽しく元気よく！

VOL.
69

令和5年
4月15日発行

www.yamagata-rinri.net

mogamiyama

最上川

山形の母なる川

特集

『倫理体験』

倫理体験は進むべき道を
指し示す標識である。



一般社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

モーニングセミナーを活性化

モーニングセミナー委員長 小林 秀樹

MS(モーニングセミナー)は県内16会場にて毎週開催されており、このMSを活性化させて仲間を増やして行くのがMS委員会の使命と考えております。

その為に一番大切なのは、【マニュアル通りに行く】という事です。マニュアルというと堅苦しく感じるかもしれませんが、これは倫理研究所が総力を挙げて生み出した成功マニュアルです。よってこの通りにやれば必ず活性化するという仕掛けがあるのです。

しかし、多くの方はこれを当日のルール程度の事と捉えているのではないのでしょうか。そんな方にこそこのマニュアルに目を通して頂きたいのです。読んで頂けると、これが単に当日運営のみをガイドしているものではない事がご理解頂けるでしょう。

マニュアルによればMSはその企画段階において既に始まっています。その事に気づきこれに沿って行動した時にMSは多くの会員・未会員を巻き込んで真の力を発揮して行きます。当委員会はそんな真のMSを創り拓げて行くために、これからも頑張っ参ります。

MS講師養成塾講師並びに受講生の集合写真(2022年12月9日)



頑張り方① MSマニュアル研修を開催する(次回は4月4日県事務局にて開催)

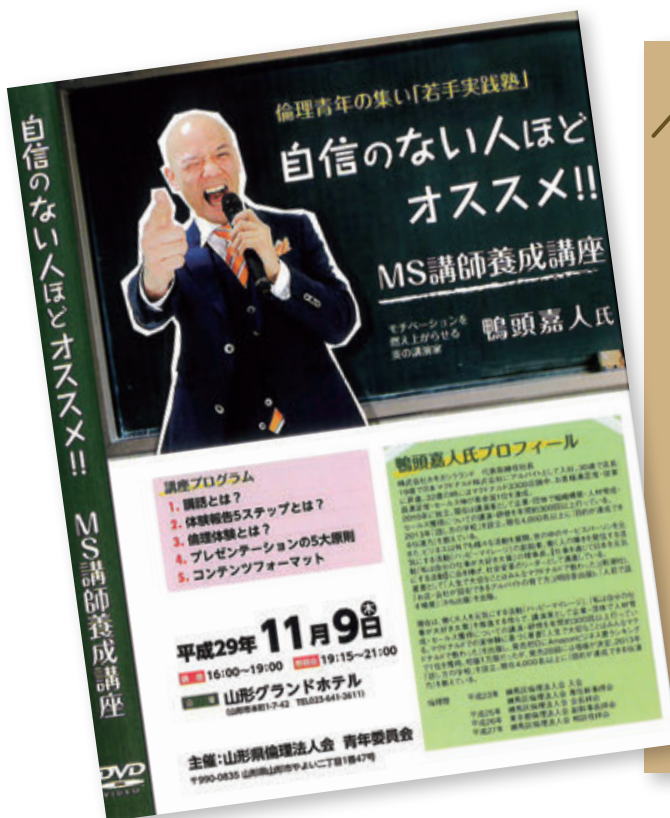
その他にもMSマニュアル研修は参加役員1名から90分のお時間を頂ければ委員長の小林がどこにでも伺い開催可能です。県事務局までお問合せ下さい。

頑張り方② MS参加社数の見える化

こちらは各単会に掲示物として配布予定です。ご期待下さい。

頑張り方③ MS講師養成塾

当塾は、MS講師として内容をどう作り込むか、そしてどう伝えるかという2大テーマについて4名の講師陣(寺嶋朗圭研究員・今田由美子先生・河原恵先生・酒井原ひとみ先生)を擁し全4回の日程で開催し、昨年修了しております。修了はしたのですが興味があるという方は、H29年田中正之青年委員長当時に開催しました【鴨頭嘉人のMS講師養成講座】のDVDがございますので、下記の読者プレゼントにてお申込頂きご活用ください。以上R5年度後半戦も全力投球のMS委員会でした。



鴨頭嘉人のMS講師養成講座

内容

- スピーチの原理原則
- スピーチの目的
- スピーチの作り方
- スピーチテクニックなど

申込方法

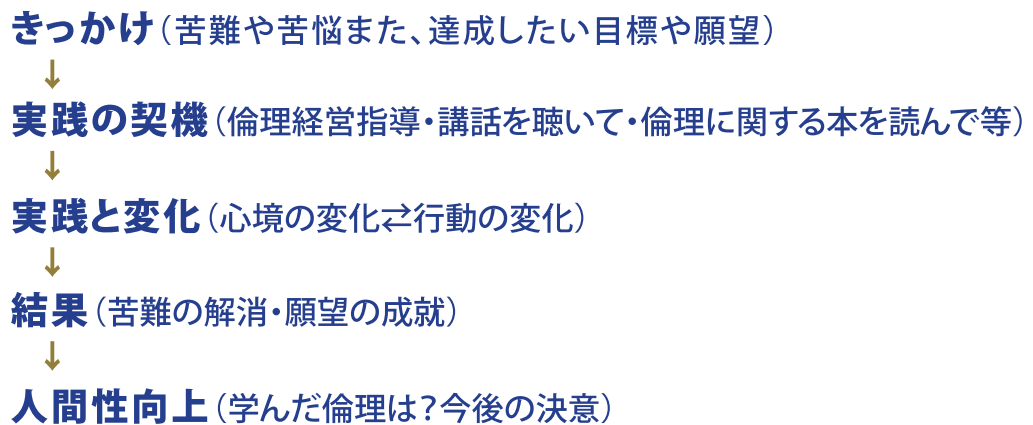


ご希望の会員様は専用申込フォーム(左記QRコード)にてお申込み下さい。20セット限定で当選は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



『倫理体験』そのものをあまり大袈裟に考えてはいけません。
『倫理体験』とは我々の取るべき道を指し示してくれる道しるべのようなものです。
つまり、与えられた道しるべに感謝しつつも、
その先の進むべき道の方が重要なのです。

実践の過程



実践報告の意義

救われる人がいる

問題解決のヒントと勇気を得て新たに実践する人が出てくる

自分を見つめる機会となる

人前で語ることで自分を客観的に見つめられるようになり次の課題や実践に取り組む契機となる

純粹倫理の正しさの証明になる

実践者は研究者。研究とは実験すること。純粹倫理を実験した結果が実践報告。実践報告を発表する場が経営者モーニングセミナー。



17才の母へ

倫理法人会に入会して暫くした頃に、ある倫友の体験を聞き、その話の中で遠く薄れた母の思い出が甦りました。私の父母は中学を卒業し『金の卵』と呼ばれた時代に東京で知り合い結婚しました。その当時母は16才。父は21才という若さでした。

その後沖縄出身の母は父の故郷福島県に嫁ぎました。東京で標準語で話せなかった母は福島の訛りに馴染むことができず、南国と全く違う冬の寒さにも仕事にも慣れられず、友人もいない孤独感にもさいなまれ、次第に心を病んでいったと後に家族から聞きました。

娘の私はというと、初孫ということもあって家族中から大変に可愛がられたそうです。我が娘が全員から愛されることを喜びと思い、そのことを生きる糧として、どんな辛さや苦勞にも耐えようと考えられるようになるには、まだ17才の母は幼すぎました。

母は日々の心の辛さ、うっせきを、人目をはばかりながら幼い私に当てるようになってしまったのでした。家族も母の行動に日々疑問を持っていたようでしたが、ある日母が私の左足に大きな怪我をさせ、それがきっかけで母の日常的な私への虐待が発覚することとなりました。

居場所を失った母は、お腹の中の弟と父と三人でまた東京に戻ったそうです。私のことを誰よりも大切にしてくれたお爺さんが、どうしても私だけは置いて

いってくれと父に言い、それから私は福島で父の兄弟と共に、年の離れた六人兄妹の末っ子として育ててもらいました。

母の遺した傷跡を見る度に言葉にできない思いが込み上げてくる、そんな人生をずっと過ごしてきました。でも、私も29才で母になり、子を育てて思うことは、17才というまだ幼い子供が子を産んで育てるには取り巻く環境が過酷すぎた。そんな状況の中、私も子供を愛情たっぷりに育てられるか？といったら自信が無いです。

今、大人になって思う事は、人間という生き物は例えどんな母親であっても全員が全員、世界で一番愛おしい存在とは母親では？と思うのです。私は、17歳で私を苦勞して産んでくれた母に感謝の気持ちを伝えるために、4月に沖縄に行くことを決めました。私の記憶の中に母に触れたという記憶が無いので、母はきっと驚くかもしれないけれど愛おしい母を抱きしめたいと思います。もしも17歳の母が私の娘だったら「辛かったね、誰も悪くないよ、自分を責めちゃダメだよ」と伝えてあげたいと思います。

私の人生最大の悲しみ、母を憎む人生、その悲しみの人生から、辛い思いを堪えて産んでくれた愛おしい母へと想いが変わるきっかけを与えて下さった倫理法人会にご恩返しをしていこうと思っています。皆様とお仲間になれてとても光榮です。



こころ豊かなワンチーム

私は現在、山形市で女性専用のアロマサロンを開いています。

自宅の一室を使わせてもらい、家族から応援されながらも、私は夫に対して感謝ができずにいました。

仕事に対する悩みが増えていたときに、友人から倫理法人会に誘われました。日々実践に取り組まれている方々のお話を聞いているうちに、夫に対する責め心があることに気付きました。そんな責め心ばかりの自分から抜け出したいと思い、夫が仕事に向かうときは『明るい笑顔で見送る』ということを実践に移していきました。

はじめの頃は良かったのですが、夫に対する責め心は根深いものがあり、気付けばまた以前のように、夫を責め立てている自分がいました。正直、自分でもこの状況をどうしたらいいかわからなくなり、生活倫理相談を受けました。

そこでは、倫理は創始者丸山敏夫先生の【夫婦道】という論文から始まったこと。女性として、妻としての本当の立場や役割などを知り、「そうか、そうだったの

か」を連呼しっぱなしの、とても大きな気づきの時間となりました。

その後も別の会場で、家族は一つのチームであることに改めて気づくことができました。今まで夫に対して『私がこんなにやっているのに』と抱いていた責め心は、『チームの得点は自分ひとりの手柄だ』とアピールしているのと何ら変わりなく、私はずっとそれをやっていたのだと省みることができました。

私は今、夫が仕事のお弁当を作ることを実践としています。気づきを得てからは、ただ詰めるのではなく、お昼の時間が楽しみになって、午後の活力になるようにと、相手を想って作ることができるようになりました。夫に対する責め心も次第に小さくなり、仕事に対しても、今まで以上に明るく取り組めるようになりました。

私は一人でサロンを開いていますが、家族と一緒に『こころ豊かなワンチーム』として、日々成長していきたいと思っています。





富士研で得られた 『ワンネス体験』

2020年時の富士研に参加の予定でしたがコロナで中止になり、ようやく今回参加の機会を頂きました。ですが、直前まで仕事の忙しさで、心構えもままならないまま新幹線に乗り御殿場に向かいました。仕事はそれなりにあるものの、資金繰りの悩みからなかなか出られず、せっかく育った社員も退職することになったりと、もうひとつうまく廻っていかないジレンマのような悩みを抱えていました。弊社は組織変革や観光地域づくり、人材育成のお手伝いを業としております。ファシリテーションと社会構成主義のメソッドと技術を用いて、クライアント様では成果や結果が出ております。それなのに、当の自分の足元がもうひとつ定まらないというのは、なかなか云えない私自身の課題でした。

そんな状況のなか、富士山の麓の研修所で、全国各地から集まった知らないメンバー8人と同部屋になり、2泊3日行動を共にします。他県の倫理の仲間と協働する中ですが、2泊3日はあつと言う間なので照れたり躊躇している暇はありませんでした。早めに自己開示し、最初から本気で取り組まないとなんのためかここにきたのかわかりません。正直、この年齢になって人から指示され行動をさせられるのは、やや抵抗感がありました。でも、ボランティアでトイレ掃除

や出羽三山の鏡池掃除などやってきているのです。トイレのスリッパの並べ方、洗面所の水拭き、班ごとに風呂掃除では毛一本も拾う念の入れようでした。それを越えて「これでもか」と取り組む仲間に「ここまでやったら十分だろう…」という自分がいました。それでも渡されるチアアップカードという名の罰ゲームをみんなで一緒に取り組む中で、頭でわかったつもりでいる自分が随所にだんだん見えてきました。どこかで、賢さやずるさが出ていたりしたのだなあと思えるようになりました。

忘れられないのは、挨拶テストでなかなか合格がもらえなかったこと。1回目では合格できず、最終日の特別テストでようやく皆の礼が揃ったとき、これは心底嬉しかった。ただみんなが揃ってお辞儀をする、たったこれだけのことだが、みんなの心をひとつに揃えることがこんなに大変だったことを経験したことが一番の収穫でした。「こころ一つにつながった瞬間」が感動的でした。俗に言う“ワンネス体験”は、私にとってはこれでした。

富士研から帰って来てからの気づきは、また機会がありましたらご紹介させていただきます。自分の恥ずかしいような気づきをさらけ出してお伝えしたいと思います。感謝

倫理を正しく学び楽しく実践しよう

(一社)倫理研究所 法人アドバイザー
山形県倫理法人会 相談役

中村 恒一



目標と目的を区別しよう

お三方に人生の1ページを区切って発表してもらった。それぞれの次の行動が楽しみである。これらの体験はある時点での目標達成であって人生の目的つまりゴールではない。

体験が生まれて、これで良かった、もう出来たと。そうするとそこで止まってしまう。生きる目的をちゃんと全う出来ているかどうかというのはまた別の話である。

目標は達成したら消失してしまう。発表の段階では良い勉強をしているし、気づいたこともあった。そこから先をどうするかが何よりも大切である。そしてそれが進むべき正しい道である。

倫理を長く続けるには、人生の目的を明確にしないといけな。それがややもすると目標を目的と思いついでいる人がいる。目標は中間地点であり目的は最終的ゴールである。

正しい道というのは、自分の生きる目的を明確にして、これ以上のものはない、これ以下のものもないというものをきちっと心に刻むこと。そういう心の持ち主は倫理を休んだりはずるけれど決してやめたりはしない。

倫理を正しく学び、楽しく実践しよう

倫友とお付き合いすることによって、あの時あなたからこんな事を言ってもらって、実は救いだっただよってという場面は会員なら誰もがたくさん体験している。確かに倫理体験を発表することで救われる人がいるかもしれないし、話した自分にも返ってくることもあるだろう。

しかし、発表の場においていろいろな人が体験を話してくれることが良いかという、難しい問題もある。体験発表に伴うその人の条件は一律には語れな

い。参考にはなるがその通りやってみることは難しい話だし、その通りやってみなさいと言えるようなことでもない。

研究者や有資格者だけが倫理指導をできるのであって、そうでない人が下手なことを言ったら大変なことになる。人が目標に到達するための方法というのは、皆が皆、条件が全て一緒ではないことは心に留めておくべきである。

お前がうまくいったのは天気のせいだろう。

お前がうまくいかなかったのは天気のせいだろう。

極端な言い方であるが、天気は晴れていたのか雨が降っていたのか、場面次第で手立てや方法が違ってくる。自分の資格好は写真で見れば分かるが、他人にとって人格を判断する物差しにはならない。

結果として得たいものが同じであっても人によってその周りであることが違う。そうするとアプローチが違ってくるのは倫理でよくあることである。研究者や指導者から倫理を正しく学び、楽しく実践するのが一番である。

倫理を正しく学ばないと 倫理体験が出てこない

丸山敏秋理事長が『倫理ボケ』というものがあるとおっしゃっていたという。『倫理ボケ』というのは、勉強したつもり、知っているつもり、実践をやっているつもりでいて実際はちゃんとできていないことを指す。

倫理を正しく学ばないと、倫理体験が出てこないだろうし、体験したことすらわからないだろう。体験を話した相手が自分を受け入れてくれて、大切に大事にもらえる仲間同士であれば良いが、やむすれば阻害される体験にもつながることがあることを知っておきたい。

山形県倫理法人会 会長
今田 早百合



私は「丸山敏雄伝」が好きだ。ここには丸山創始者の具体的に何を実践したらよいかの教えが書かれている。例えば、『やるのは1日1回。出来ない、難しい。よくよく見ると実はやっていないということが殆どである。』

やらなければならないようになるはずがないとか、手紙はすぐ書け、朝起きは全ての基本、出足を早く、引き足を早く、等非常にわかりやすく具体的に書いてある。

本気なら言葉に出して言う。口から出た言葉は実現化していく。口先ではなく、心情のこもった言葉を使っているだろうか。言葉を軽視してはいけない。後始末の習慣は世界を変える。エイっと明朗な心に変える。雨を喜ぶ。これもいい。特に好きなのが心の底から聴く、というくだりである。

セミナーの講義中、講義ノートは取る必要がない。私の話は黙って聴いておればよいのです。心から耳を澄ませて聴いていると、必要な時に、はっきりと思いだすものですと書いてある。泣きたいとき泣けともある。大人になるとなかなか素直に泣けないものである。人を感動させる話し方というものもある。

創始者は話についてこう語っている。具体的に話せ。準備をよくせよ。内容を十分に研究しておけ。そして弁論の心得として、

思うことを素直に、大胆に、明瞭に語ること
人に気兼ねしたり、人の思惑を考えたり、
その結果をくよくよ考えたりしないこと
大いに語ること
己の真実を語ること

と述べている。翻って見ると私達はいや私は倫理について大いに語っているだろうか。

万人幸福の栞の16ページに「この倫理は宗教でも思想運動でも空想でも理論でもありません。皆さんはまずこれをよんで、理屈なしに行ってください。きっと変わった結果が出てきます。実験されて正しい事がお分かりになれば、隣人に知らせ知人に伝えて」とあるようにもっとも倫理を語らなければならないのでは、いや語ることが少なすぎるのではないだろうか。

まず実践をし、その結果が出たらそれを友人、知人に大いに語る。誰からではない。まず思い立った人から始めようではないか。もっとも実践して、実験して面白い結果が出たら、友人、仕事先の方にだって遠慮することはない。大いに語ろうと思う。誰に遠慮がいるものか。自信をもっていいものはいい、と言おう。その先に倫理運動の広がりも山形県倫理法人会の更なる発展も見えてくると信じている。

『山形りんりまつり』を開催

鶴岡市倫理法人会会員である、庄内刺し子の『刺し勇』代表の小野寺勇一さんが実行委員長になり、山形駅西口やまぎん県民ホール前の芝生広場で、年3回、県内外の作家さんたちが集まる『まちなかクラフト』が開催されています。前回11月の開催では3000人を超える来場者があったそうです。

その小野寺実行委員長から、3月25日の『まちなかクラフト』開催日に、空いているスペースを用いて山形県倫理法人会の会員企業様のPRやイベントを行なってはどうかという申し出をいただきました。そこで今田早百合県会長が実行委員長となり『山形りんりまつり』を開催いたしました。

『山形りんりまつり』について、小野寺実行委員長からは「僕がやっているクラフトフェアに馴染むような感じでやりたいと思っていました。今田会長からご尽力いただいて20ブース以上集まってそれなりのボリューム感になったので、結構お客さんも来てくれているし、賑わっているのがありがたいなと思います」とコメントをいただきました。

会員企業のブースは、物販の他、春のポートレート撮影会、健康チェック、マッサージ、手相占い、生活用品セールなどユニークな催しもあって、クラフト作品の展示販売、飲食に彩りを加えていました。とても楽しいイベントなので今後も続けて欲しいと思いました。

(広報委員長 土屋和浩)



山形市中央倫理法人会 ひざつきわっしょい



令和5年3月8日(水)に山形市の新しく出来た施設Q1にて山形市中央倫理法人会の『ひざつきわっしょい』が開催されました。

コロナ禍でしばらく開催が出来ずに久しぶりの開催となった本イベントは、山形市の市長である佐藤市長と副市長の井上副市長をお招きして、若い世代の経営者と膝をつき合わせてざっくばらんに話をするというイベントです。

市長のこれからの山形市についてのお話や副市長のお話などをして頂き、皆様真剣に聞いておりとても良い会となりました。



人数もゲストを含め30名以上の集まりとなり久しぶりの開催にも関わらず多くの人にご参加頂きました。

ゲストの皆様も市長や副市長に遠慮なく質問をぶつけて、市長と副市長もそれに対して真剣にお答え頂いておりました。

一部プライベートな質問にも答えており、時折笑いが起きるなど終始楽しい会となり開催して良かったなと思えるイベントとなりました。

また、ご参加頂いたゲストの方もこれを機に山形市中央倫理法人会にご入会も頂けてより一層中央の絆が深まったと思います。



「明るく楽しく元気よく」を今後も実践していき、より良い中央になると思います。

(広報委員 樽谷 僚)

天童市倫理法人会1000回記念特別モーニングセミナー



山形県倫理法人会で3番目に誕生した単会が天童市です。その天童市で2022年11月9日に1000回記念特別モーニングセミナーが開催されました。1000回ってもの凄い歴史ですね。

講師は山形県倫理法人会 相談役(株)竹原屋本店 代表取締役会長 五十嵐慶三氏が『いまここから』というテーマで話されました。

示唆に富んだ素晴らしい講話でした。全員のテンションが上がる中、度々起きる笑い拍手。そして、突然やってくる無茶振り。

MSでしっかりと倫理の奥深さを学び、とても美味しい朝食を頂けて起きていても夢気分になりました。



置賜地区3単会合同 米沢市倫理法人会クリスマスパーティー2022開催



令和4年12月10日(土)にグランドホクヨウにて置賜地区3単会合同クリスマスパーティー2022が行われました。コロナ禍で3年ぶりの開催となるため置賜地区会員の親睦を図ろうという酒井原会長の発案により実現に至りました。山形から県の今田会長にもお越し頂き歌やゲーム等で大盛り上がり一夜となったことは言うまでもありません。

中でもゲストの小林舞香(まいか)氏によるライブペインティングはアクリル絵具による今までに類を見ないユニークな色付け方法で、見ている目の前でどんどん絵が完成して行く圧巻の出来栄えに会場が魅了されました。

また米沢市役員による「りんりんバンド」も本領を発揮し華やかなクリスマスメドレーを披露、「夢限りなく」の大合唱で気分も最高潮となり、お待ちかねの「ビンゴ大会」ではお目当てのプレゼントをゲットし満面の笑みで終宴出来ました。



この交流で置賜地区3単会相互の絆がより一層深まり実践目標の「明るく楽しく元気よく」は見事実践する事となり今後の活動がより円滑になると確信できる夜となりました。

置賜副地区長 宮下 徹

北村山倫理法人会

令和4年11月11日 経営者の集いコンサート

経営者の集いで初めてのチェンバロコンサート。皆様のご協力のおかげで大成功でした。札幌市相談役(法人レクチャー)明楽みゆき様から感想をいただきました。

「～ついに北前のふるさとへ～やっと先祖のご縁を辿ることが出来ました。五代前の先祖は、北前船主として、山形県にもご縁がありました。

また奇しくも私が弾いているチェンバロは、北前船が日本海を何万隻も往来していた時代に海の向こうのヨーロッパで非常に愛されていた豎琴です。チェンバロは、今や特注で世界に一台だけのデザインで4年かけて作家によって製作されます。サクランボが大好きな私はチェンバロの中にサクランボを描いて貰っていますが、今回、経営者の集いとモーニングセミナーでお世話になった東根市がまさにその一大産地であるという事も二重の喜びでした。

チェンバロはかつて織田信長が愛でた楽器ですが、経営者の集い会場の妙法寺様は、信長由来の由緒ある場所で驚きばかりでした。ご来場下さった



倫友の皆様は熱心にチェンバロの響きをお聴き下さり、本当に嬉しかったです。毎日200本の弦を自分で調律しますが、心が整い、その向こうには明朗愛和を感じます。倫理の学びのおかげです。今後も実践の日々を送ります。お世話になりました。ありがとうございました。」



経営者の集い 於:天童市妙法寺



モーニングセミナー 於:東根市民謡の宿あづまや



1月6日、豊烈神社にて新年ご祈禱を行いました。県役員代表並びに事務局員が参拝し今年1年の会の繁栄と会員の皆様の安寧をお祈りしました。



県旗新調

2022年11月5～6日に開催された『倫理法人会7万社大会』において新しい県旗を賜りました。山形県倫理法人会の理念や理想・信念の象徴として、県が主催する行事の場に掲げます。旗の中に、山形県倫理法人会は1991年9月18日、国内31番目に設立したことが記されています。



令和5年度 倫理経営講演会 開催日程

テーマ ▶ 経営力を磨く～自己変革に挑む～

天童市倫理法人会	1月24日(火) 18:30～20:00	ホテル王将
山形市倫理法人会	2月20日(月) 18:15～20:00	山形ビッグウイング
山形市蔵王倫理法人会	3月10日(金) 18:00～20:00	山形ビッグウイング
上山市倫理法人会	4月 6日(木) 18:00～20:00	仙溪園月岡ホテル
酒田市みずほ倫理法人会	4月14日(金) 18:30～20:30	ガーデンパレスみずほ
酒田市倫理法人会	4月18日(火) 18:00～20:00	酒田勤労者福祉センター
山形市中央倫理法人会	4月19日(水) 18:30～20:30	山形ビッグウイング
米沢市倫理法人会	4月19日(水) 18:00～20:00	グランドホクヨウ
新庄最上準倫理法人会	4月26日(水) 18:30～20:30	ニューグランドホテル
庄内中央倫理法人会	5月15日(月) 18:30～20:30	なの花ホール
山形市霞城倫理法人会	5月16日(火) 18:00～20:00	山形流通団地組合会館
鶴岡市倫理法人会	5月17日(水) 18:30～20:30	グランド・エル・サン
寒河江市倫理法人会	5月18日(木) 18:00～20:00	ホテルシンフォニーアネックス
南陽市倫理法人会	5月22日(月) 18:00～20:00	熊野大社證誠殿
北村山倫理法人会	5月26日(金) 18:00～19:40	クアハウス基点
西置賜倫理法人会	5月30日(火) 18:00～20:00	タスパークホテル

編集後記

『きっと出来るぞ、きっとやるぞ、と動かぬ信念がその事を成就させる。(栞104P)』。動かぬ信念をねりかため、ねりあげる訓練には『朝起き』が一番です。今日から

1年間、経営者モーニングセミナーに1度たりとも休まず全部出席する!と心に決めて、それを実行してみたいはかがでしょう。

1年間は長いので週に1度だけ4時起き実行は論外。また絶対に病気をしない、生活リズムが合わない家族の理解を得る、仕事上のお付き合い(深酒)を避ける等々がうまくいかない状況にぶつかるとも。もし信念が弱いものであればそれらに負けて皆出席失敗という結果になってしまいます。

連続出席30回を過ぎた頃には成就まで絶対に失敗できないという心配やプレッシャーで眠れなくなるかもしれません。そうした心模様も面白いものですが、もし失敗したとしてもそこからやり直せば良いだけです。『また最初失敗すること、これは尊い月謝である。(栞86P)』。

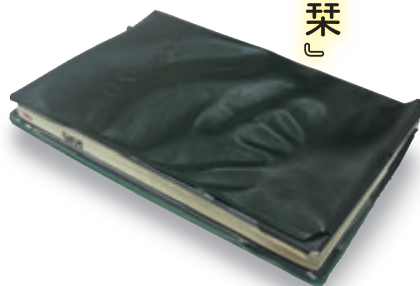
経営者モーニングセミナー皆出席と、例えば絶対に自社の業績をアップさせるという場合の行動は全く違います。これらに何の関係があるの?と思うかもしれませんが実は関係があるのです。何故なら人としての心の在り方はどちらも全く同じ。事を成就させるための強い信念は共通なのですから。

経営者モーニングセミナー皆出席を達成した時の心は様々な困難を解決する時の心に他なりません。強い信念が困難を解決していくという体験は自信となり、事を成就させれば、これが出来たのだからあれも出来る、これも出来るとなっていきます。倫理って面白いですね。

(広報委員長 土屋 和浩)

30年間、
ほぼ毎日読まれ続けてきた『栞』

竹原屋本店五十嵐勇次氏の『栞』です。これは30年間ほぼ毎日読まれ続けてきた本です。本紙は手垢にまみれて変色し、カバーもボロボロですが、モノとしての風格を感じます。



発行/山形県倫理法人会
〒990-0071 山形市流通センター2-3
TEL 023-615-8966 / FAX 023-616-4156
<https://www.yamagata-rinri.net/>

発行日/令和5年4月15日

